

- 年間を通して摘み取り体験可能な多品種のトマトハウス(1,000㎡)を整備し、栽培管理者として県内の農業者等養成専門大学校の新卒者を雇用。将来的には市内で独立した農業経営が可能となるよう、ほ場や住居等の確保を支援。
- また、6次産業化や農商工連携等に取り組む意欲のある農業者や団体グループが、加工品づくりの試作や研究ができる専門スペースを設置するなど、地域の基幹産業である農林畜産業の振興を図るための拠点として道の駅を活用。

<地方創生拠点としての機能> 地域センター型

産業振興 農業専門大学校の学生の雇用	地方移住等促進 定年帰農者等のための講習会	観光総合窓口 地場産物を活用した体験・交流	防災 災害時の避難所・ヘリポート設置
------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	------------------------------

体験ほ場施設イメージ



交流施設イメージ



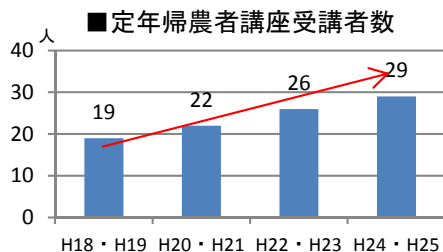
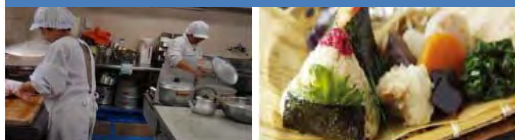
新規就農者や定年帰農者等支援イメージ



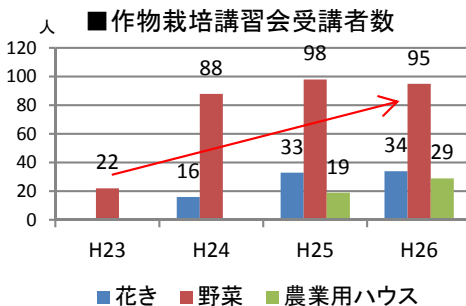
防災拠点イメージ



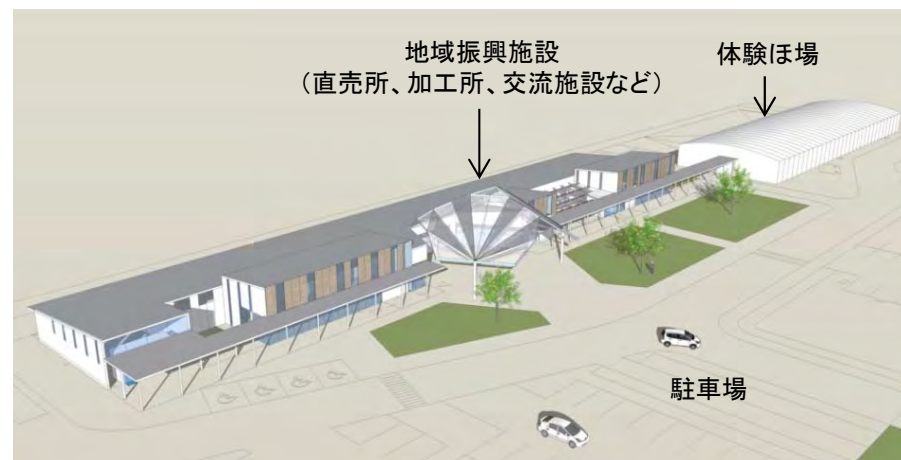
地場産物による惣菜の加工販売イメージ



H18以降、受講者のうち39名が実際に農業従事者として朝市等に出荷



駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
常陸太田	茨城県	常陸太田市	国道349号	新設	平成28年(予定)	一体型



※イメージ図であり、今後、変更があります

<提案の先駆性・ポイント>

- 県内農業者等養成専門大学校の新卒生の採用、新規就農や定年帰農を希望する方への、栽培農家等による技術支援、空き家等を活用した住居、耕作地等の確保や、農業用ハウスなどの整備を支援。
- レストランにおいて、地元農家が生産した野菜を使用した、地元主婦調理による「お袋の惣菜ビュッフェ」を提供。
- ヨーロッパの「マルシェ」市場をイメージした地元農産物の直売所(ファーマーズマーケット)において、商品知識の豊富なスタッフによる(野菜ソムリエ、食育ソムリエ等)販売。

<実施内容>

- 体験ほ場施設として、トマトハウス(1,000㎡)を整備し、栽培管理者として農業者等養成大学校の新卒生を雇用。
- 地元農産物等の直売所(ファーマーズマーケット)、加工所、レストラン、フードコートの整備。(6次産業化の推進)
- 農業者、商業者、観光客、市民などの交流コミュニティスペース(体験交流施設)の整備。